

目標2 町民一人ひとりが「まちの財産」、

近年、地域住民が抱える生活課題が複雑化・複合化しており、地域に暮らす全ての人々が、年代・性別にかかわらず安心して暮らせる共生型の地域づくりを進めることが必要です。

誰もが住み慣れた地域で、孤立せず、安心して暮らし続けられるまちを目指します。

令和5年度は

健康づくりに関連し、特定健診等未受診者への受診勧奨強化など受診率の向上や、不妊治療費の助成や幼児期における視覚障害の早期発見支援、人工透析患者送迎車両の計画的更新などフォローアップ体制の充実、高齢者を対象とする介護予防教室や健康教育・健康相談のほか、超高齢社会を支える福祉介護人材確保に向けた支援など介護予防の推進に取り組みます。

高齢者・障がい者支援に関連し、成年後見センターの運営や重層的支援体制の整備、消費者被害の防止など一人ひとりに寄り添う生活サポートの構築や予防接種の支援を進めるほか、自動車運転免許自主返納者に向けた地域公共交通チケットの発給など日常生活を支える公共交通の充実を図るとともに、聴覚障がい者への総合的な支援や、ユニバーサルデザインを推進します。

■成年後見センター運営事業（新規）

町直営による成年後見センターの設置・運営や、高齢者や障がい者の方々の意思決定を支援し、権利や財産を守ります。

予算108万円

■福祉介護人材確保事業

福祉分野専門職の安定した人材確保のため、外国人の雇用やキャリアアップ研修を行う町内事業所に、助成金を支給します（上限あり）。

予算129万円

目標3 先人への感謝を忘れず、

本町には、ポロト湖と周辺の原生林など古くから息づく豊かな自然環境、古式舞踊や食・手工芸、口承文芸などのアイヌ文化、幕末の仙台藩士とアイヌの人たちとの共生の歴史が、過去から現代に脈々と受け継がれており、先人への感謝を忘れず、未来に向け引き継いでいく必要があります。

先人から受け継いだ豊かな自然、歴史・文化を、次世代に引き継ぎ、発展するまちを目指します。

令和5年度は

歴史・文化に関連し、北海道遺産に選定された仙台藩白老元陣屋の記念特別展実施による史跡の魅力向上に取り組みます。また、白老アイヌ協会・白老モシリ・白老民族芸能保存会と連携した、地域アイヌ文化の保存・伝承と人材育成を進めるほか、アイヌ文化復興・発展のナショナルセンターであるウポポイとも緊密に連携し、アイヌ文化のさらなる理解促進に取り組みます。

環境に関連し、白老町地球温暖化対策実行計画の策定に取り組むとともに、住民や地域、事業者の皆様と連携・協働しながら、温室効果ガスの人為的排出と吸収の均衡を達成するための施策を展開することにより、2050年までに温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に挑戦し、脱炭素を推進します。また、循環型社会の形成や不法投棄対策の強化に取り組みます。